

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		私立学童保育室運営事業		担当課	保育課	担当係	学童保育係	管理番号	3526	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	児童福祉法					
	小項目	2	保育サービスの充実							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		児童福祉法に基づき、保護者が就労等により昼間留守になる小学校児童の放課後の健全な育成を図るため、私立学童クラブの運営に係る委託料及び土地・建物の賃借料や支援員の賃金改善・送迎支援等に対する補助金を交付することにより、放課後児童の安全安心な保育の場を確保する。								
目的 ※何のために		保護者が就労等により昼間留守になる小学校児童の放課後の健全な育成を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		小学校児童が利用する市内の私立学童クラブ								
手段 ※どのように		私立学童クラブにおける児童の保育に係る経費委託料（学童設置基本分、学童支援員加算及び障害児加算分の人件費、賠償保険料）を支弁し、土地・建物の賃借料、支援員の賃金改善、送迎支援等に対し補助金を交付する。								
成果 ※何を求めるか		放課後等の児童に安全安心な保育を提供する。								
執行体制		<input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input checked="" type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	3	民生費	2	児童福祉費	4	学童保育室運営費	私立学童保育室運営事業	133,198,400
本事業の 主な業務		・運営に係る委託料					・			
		・土地・建物の賃借料補助					・			
		・学童保育施設建設費補助					・			
		・送迎支援費補助					・			
		・処遇改善費補助					・			
		・					・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	民間学童クラブへの経費委託料、賃借料等に対する補助	
事業費	予算（現額）	148,831,000	165,404,000	186,871,000	189,478,000	171,044,000	172,840,000	
	決算額	146,918,800	146,583,600	162,540,200	181,815,400	133,198,400	0	
	財源内訳	国支出金	47,139,000	47,846,000	51,933,300	62,476,000	47,149,900	55,186,000
		県支出金	45,794,000	47,108,000	49,056,000	60,521,000	45,486,000	52,358,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	53,985,800	51,629,600	61,550,900	58,818,400	40,562,500	65,296,000
人件費	従事職員数（人）	0.85	1.30	1.00	0.95	0.95	1.25	
	人件費相当試算※	6,612,150	10,116,600	8,105,000	7,729,200	7,373,820	10,164,185	
総事業費試算		153,530,950	156,700,200	170,645,200	189,544,600	140,572,220	183,004,185	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	開室日数		目標値	日						
			実績値		293	292	293	293	271	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開室日数は祝日等の状況により変動があるため目標値の設定しない。/当該年度実績						
	実績値の算出式									
活動指標 2	私立学童保育室数（市が委託する学童）		目標値	室						
			実績値		16	16	15	15	13	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			認可制でないため対象施設の目標設定ができない / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 1	私立学童保育室の年間入室児童延べ数		目標値	人						
			実績値		7875	8281	8239	8197	5997	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			保育ニーズにより変動するため目標設定ができない / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
成果指標 2	児童一人あたりの保育面積		目標値	㎡	1.4	1.48	1.56	1.65	1.65	1.65
			実績値		2.76	2.69	2.62	2.63	3.35	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			児童1人の面積基準1.65㎡以上 / 民間総面積÷月平均児童数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	運営における事故件数（国に報告した事故件数）		目標値	件	0	0	0	0	0	0
			実績値		0	0	0	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			国に報告する事故は重篤な事故となるため0件とする。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	土地・建物の賃借料、支援員の処遇改善、送迎支援等の補助金を交付した。 また、市内13の私立学童クラブに対して、運営に係る委託契約を行い、待機児童を出さずに受け入れを行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	公立・私立を問わず市内全体で、学童保育室の需要は高まっている。待機児童の発生もなく、条例で定める面積基準も超えており、市からの委託料や補助金により、安定した運営や、安心安全な保育が行われた。
			評価者 学童保育係長 本庄 寛史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	私立学童保育室運営事業については、委託料及び補助金の交付が主な業務となっているため、現在の業務執行について、効率的に執行できている。
			評価者 学童保育係長 本庄 寛史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	引き続き、立ち入り調査などを行い、基準面積や受け入れ児童数の管理運営体制の確認をするともに、委託料や補助金等の執行状況等も確認し、必要な助言等を行っていく。
達成状況及び その効果	各施設への運営調査や立ち入り調査等を行い、条例で定めている基準は守られており、大きな問題もなく運営を行っている。委託料や補助金等の執行については、適正な執行が行われている。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	私立学童保育室運営事業	担当課	保育課	担当係	学童保育係	管理番号	3526
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		<div>評価の内容説明</div> <div>私立学童クラブは、待機児童の発生もなく条例で定められている基準も守られており、立入調査においても、重大な指摘事項もなく、順調に運営されている。また、委託料や補助金についても適正な執行が行われている。今後も適正な運営を行えるよう、適切に支援していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	こども未来部次長兼保育課長 坂倉 茂				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

